

# きゅうしゅう

No.47



(撮影：施設補償課 上田功二)



## 目次 CONTENTS

### 1. 部隊紹介

航空自衛隊 沖永良部島分屯基地

### 2. 自治体紹介～鹿児島県知名町～

### 3. 業務紹介 防音対策課

### 4. インフォメーション

(表紙について)

平成30年2月5日(月)から、大分県の日出生台演習場において、米海兵隊の実弾射撃訓練(予備日を含め14日(水)まで。)が行われ、7日には地元自治体等関係者及び報道関係者に対し訓練公開が行われました。

表紙は、155mm口径榴弾砲射撃直後の写真です。肉眼では見えなかった砲弾をしっかりと捉えています。

九州防衛局が行った訓練支援の詳細は次号で紹介いたします。

九州防衛局 Kyushu Defense Bureau



<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>



# 1 部隊紹介

## 航空自衛隊沖永良部島分屯基地



航空自衛隊

沖永良部島分屯基地

第55警戒隊



第55警戒隊

兼ねて

沖永良部島分屯基地司令

2等空佐 渡辺 信行

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」を御覧の皆さま、こんにちは。第55警戒隊長兼ねて沖永良部島分屯基地司令の渡辺です。

沖永良部島は、奄美群島の南西部にあり、九州本島の南約500km、沖縄本島の北約60kmに位置する周囲約50kmの島で、行政は鹿児島、文化は琉球となっています。

沖永良部島分屯基地は、この島の西側の大山の山頂付近にあり、昨年から最新式のレーダー(J/FPS-7)を運用し、南西域における警戒監視の任務を24時間365日昼夜を問わず継続しています。

当分屯基地では、毎年実施している分屯基地開庁記念行事のほか、各種お祭り、運動会及び様々なボランティア活動に参加する等、地元の方々との交流を大切するとともに、自衛隊に対する信頼と理解の促進に努めています。

特に、知名町と共同開催している「知名町ふるさと夏まつり&大山祭り」は、前夜祭に市中パレード、本祭に船漕ぎ大会、各種演芸及び盆踊りを行う、参加者3,000名を越える大きなイベントであり、毎年の一大会事となっています。

今後も、地域の皆さまのご期待に応えるため、我々の任務を一つずつ着実に、そして緊張感をもって遂行していく所存であります。そして、皆さまから愛される分屯基地を目指して参りますので、引き続き自衛隊に対し御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。



J/FPS-7





夏まつり



ジャガイモまつり



船漕ぎ大会



天皇行幸啓



田皆岬



ワンジョビーチ



日本一のガジュマル



フーチヤ



ウジジ浜



エラブユリ



## 2. 自治体紹介

### ～鹿児島県 知名町～



マスコットキャラクター  
ちなぼー

花と隆起さんご礁の島

おきのえらぶじま  
沖永良部島



知名町長 今井 力夫

#### ◇町長あいさつ

知名町は鹿児島市から546km南にある沖永良部島の南西部に位置し、北は東シナ海、南は太平洋を隔てて沖縄本島が望めます。豊かな自然と長い歴史で築き上げた文化を大切に守り育て、うるおいとやすらぎのある町として発展してまいりました。

本町は基幹産業の農業を中心に、観光業も活気づいており、観光化されていない洞窟を探検する「ケイピング」は、大手旅行会社の「2016年夏人気急上昇の離島ランキング」で第1位になるなど注目を浴びています。

また、昨年11月には、天皇皇后両陛下が初めて本町をご訪問され、100年有余の栽培歴史を誇るえらぶゆりのほ場をご視察され、多くの町民と身近で触れ合うなど勇気と感動を与えてくださいました。

昨年から今年にかけて、沖永良部島を含む奄美群島が国立公園指定されたほか、NHK大河ドラマ「西郷どん」の撮影ロケが本町で行われるなど、観光面において追い風が吹くなか、今年7月には奄美大島－徳之島－沖永良部島－沖縄を結ぶ路線「アイランドホッピングルート」が新設されます。今後は、九州のみならず関東、関西などからもアクセスしやすくなりますので、ぜひこの機会に沖永良部島へ足をお運びください。

#### ◇知名町と自衛隊の関わり

知名町は、戦後米国の統治下におかれ、昭和28年12月に日本に復帰しました。当時、本町の大山には米軍のレーダー基地が設置されましたが、昭和47年5月に沖縄県が日本に復帰したことで、昭和48年1月航空自衛隊にレーダー基地が移管されました。米軍駐留時代から学校のグラウンド造成や道路の整備等の協力もあり米軍との関係も良好で、航空自衛隊に移管された後も、町の夏祭りや各種行事等に積極的に参加いただき、「大山の自衛隊さん」と町民に慕われています。また、日本で唯一、町道が基地内を縦断しゲートのない基地としても知られています。

沖永良部島分屯基地は、最新の固定式警戒管制レーダーを運用し、近年高まりつつある南西諸島での警戒監視の要であります。本町といたしましても安全・安心なまちづくりに向け、自然災害はもとよりあらゆる事態を想定しながら、今後も自衛隊の皆様と連携を図るとともに、外海離島である本町の国家的役割の重要性を再認識し、町民が幸せに暮らせるまちづくりを進めて参ります。



# 観光・自然



地下を探検するケイビング



青い海でダイビング



絶景の田皆岬



ウジジ浜から見る朝日



東洋一の美しさと言われる昇竜洞



テッポウユリ



# 特産品

芭蕉布

**アクセス**

福岡 大阪 東京  
鹿児島空港  
鹿児島  
種子島  
屋久島  
霧界島  
奄美大島  
徳之島  
与論島  
沖縄

— 航空路 —  
— 海路 —

**町章**

**町花**

(ハイビスカス)

**沖永良部島**  
Okinoerabujima

鹿児島から飛行機で1時間10分  
沖縄から飛行機で1時間(7月運行予定)  
奄美から飛行機で35分  
鹿児島から船で18時間  
沖縄から船で5時間30分



花き



バレイシヨ



黒糖焼酎



## 3. 業務紹介

### 学校や病院等の防音工事について

#### 企画部 防音対策課

防音対策課では、飛行場における自衛隊等の航空機による騒音や演習場での訓練により生ずる音響等の障害を防止し、又は軽減するために、防音工事の助成、住宅移転などへの補償、民生安定施設の整備への防音助成などの業務を行っています。

本号では、その中で学校や病院等への騒音防止事業(一般防音)について、ご紹介します。

#### 騒音防止事業(一般防音)の概要

騒音防止事業(一般防音)は、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第3条2項に基づき、自衛隊等の航空機の離着陸等のひん繁な実施又は演習場における射撃・砲撃等により、一定の騒音の影響があると認められる学校や病院などの施設について、地方公共団体等が必要な工事を行うときに、その費用の全部又は一部を補助するものです。

#### 補助対象施設

補助対象となる施設は、以下のとおりです。

##### (1) 学校等

幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、高等専門学校、専修学校、保育所、福祉型障害児入所施設、福祉型児童発達支援センター、児童自立支援施設、身体障害者福祉センター、職業能力開発校、障害者支援施設及び障害福祉サービス事業を行う施設、幼保連携型認定こども園、認可外保育施設等

##### (2) 病院等

病院、診療所、助産所、保健所、医療型障害児入所施設、医療型児童発達支援センター、救護施設、老人デイサービスセンター、特別養護老人ホーム、老人介護支援センター等

#### 工事の内容

防音工事は、騒音の程度により異なりますが、遮音(防音サッシの取付)、密閉された室内空気の換気・除湿・温度保持(空調機器の取付)及び室内の壁・天井を吸音材料などで仕上げるなどが、主な内容です。

なお、防音工事により設置した防音サッシや冷暖房設備等については、設置から15年以上経過し、機能が著しく低下した場合は、防音機能復旧工事として交換に係る費用を補助しています。

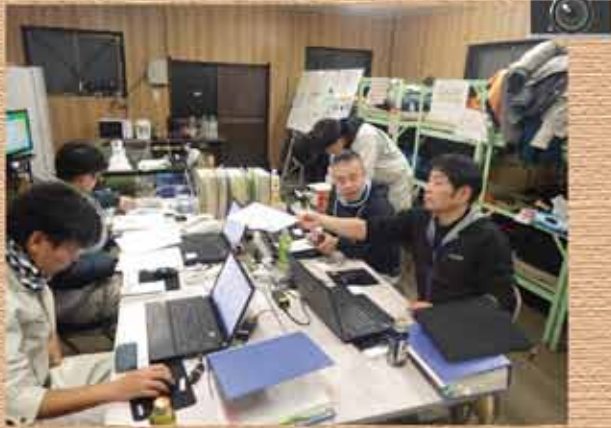




## 4. インフォメーション

### 陸上自衛隊と米海兵隊との日米共同訓練「フォレストライト01」を支援

陸上自衛隊と米海兵隊との日米共同訓練「フォレストライト01」が平成29年12月8日(金)から20日(水)までの13日間、熊本県の大矢野原演習場及び高遊原分屯地等で行われ、九州防衛局は、大矢野原演習場に現地連絡本部を設置し、地元自治体等への訓練情報の提供等に努めました。



▲現地連絡本部で情報収集をする九州防衛局職員



▲ヘリボン訓練に参加するMV-22オスプレイ

訓練には、米海兵隊所属MV-22オスプレイ4機が参加、沖縄の負担軽減のため、MV-22オスプレイを用いた米海兵隊の訓練を沖縄から移転し、今回の共同訓練に組み込んで実施しました。

同機は、ヘリボン訓練や夜間飛行訓練を実施し、13日には、自治体関係者や報道関係者等を招いて体験搭乗を行いました。

### 日米交流 in 西海2017開催(西海市)

平成30年1月20日(土)九州防衛局が主催する日米交流事業「日米交流 in 西海2017～EXCHANGING SPORTS & CULTURE～」が西海市大瀬戸総合運動公園体育館で開催され、佐世保市立祇園小学校、佐世保市立金比良小学校、西海市立西海東小学校及び米海軍佐世保基地の約100名の児童が参加しました。

開会式では、三貝九州防衛局長が挨拶を行い、協賛者を代表してブラッド・L・ストーリングス米海軍佐世保基地司令官、来賓の朝長佐世保市長及び小島西海市副市長よりご挨拶をいただいた後、参加者全員で準備体操をしました。

午前の部では、ソフトディスクを使った「ドッチビー」が日米混合10チームで行われ、冷え切っていた体育館もいつの間にかドッチビーに熱中する児童の熱気に包まれていました。

昼食をはさんで、午後からは、児童らによる佐世保独楽(サセボゴマ)の絵付け体験や独楽回し体験が行われました。独楽回しでは初めはうまくいかなかった児童も、指導員の説明をよく聞いて最後は回せるようになっていました。

また、会場内で独楽作成の実演が行われ、大小様々な独楽を作るその手際の良さに見学者はみんな驚いていました。

閉会式では、原田地方調整課長の挨拶の後、参加者全員で記念撮影が行われました。参加した子供たちからは、「とても楽しかった」、「すごく面白かった」など多くの意見が聞かれ日米の子供たちの友好をますます深めることができました。



▲三貝九州防衛局長挨拶



▲ストーリングス米海軍佐世保基地司令官挨拶





# お知らせとお願い

**米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、重大事故につながるおそれのある大変危険な行為ですので、行わないで下さい。**

こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、法令違反に当たる場合があります。



■ 米軍ヘリとドローンが接近する状況

米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、米軍の航空機との衝突事故等につながるおそれがある大変危険な行為です。

実際に、米軍ヘリが衝突を避けるために回避を余儀なくされる等、米軍航空機の航行の安全に影響が生じるような事案が発生しています。こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、法令違反に当たる場合があります。

**安全確保のため、御理解をお願いいたします。**

**防衛省・警察庁・国土交通省・外務省**

■ 本チラシの内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のいずれかの部署に御連絡願います。

防衛省本省 地方協力局地方協力企画課  
防衛省九州防衛局 総務部報道官

(代表) 03-3268-3111 (内線: 36245、36047)  
(直通) 092-483-8813

## 平成30年度 防衛省職員採用 受験案内

試験名		受付期間 (申込み方法)	第1次試験日 (1次合格者発表日)	第2次試験日	最終合格者 発表日	
人事院	総合職試験	院卒者試験	3月30日(金)～4月9日(月) (インターネット)	4月29日(日) (5月11日(金))	筆記 5月27日(日)	6月29日(金)
					政策課題討議・人物 6月8日(金)～6月15日(金)	
	一般職試験	大卒程度試験	4月6日(金)～4月18日(水) (インターネット)	6月17日(日) (7月11日(水))	筆記 5月27日(日)	
					人物 5月29日(火)～6月15日(金)	
一般職試験	高卒者試験	6月18日(月)～6月27日(水) (インターネット)	9月2日(日) (10月4日(木))	7月18日(水)～8月3日(金)	8月21日(火)	
				10月10日(水)～10月19日(金)	11月13日(火)	

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

### 夜間及び休日の連絡先

電話:(092)483-8832 FAX:(092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、  
休日は終日。